

これからの介護・地域で暮らす利用者のために

= 原点に戻り介護職の役割・あり方を再考する =

介護人材は、地域包括ケアシステムの構築に不可欠の社会基盤であり、その確保は最重要課題となっています。2025 年には、介護福祉士が介護現場での中核的な役割を担うこと、このため、2025 年までに介護人材の 5 割を占めることを目指しています。その中期的対応として「継続的に専門性を高めていくことのできる教育体系の確立、専門性に応じた役割と位置付けのあり方等について」の検討が進められています。

介護福祉士資格創設からもうすでに 29 年たちました。上記のように、介護福祉士は、その量質ともに転換点に立っているとと言えます。そこで一度、原点に戻り、今後の介護職の役割・あり方を検討していく必要があります。本シンポジウムでは、資格創設から多方面で関わってこられた先生方に登壇していただき、原点に戻り今後の介護福祉士の在り方を出席者とともに討論をしていきます。

日時 平成 28 年 5 月 28 日（土） 13 時から 16 時

場所 目白大学新宿キャンパス(東京都新宿区中落合 4-31-1) 10901 教室

http://www.mejiro.ac.jp/map/access_s.html

参加費 会員 1000 円 非会員 2000 円 学生無料 (※申込用紙は 2 頁目にあります)

【シンポジスト】

- 群馬医療福祉大学大学院特任教授 黒澤 貞夫 氏
介護福祉士資格創設過程を振り返り、今後の介護福祉士のあり方を提案する。
- 日本社会事業大学 社会福祉学部 准教授 田中由紀子 氏
介護福祉士養成教育の創設期を振り返り、今後の介護福祉士養成教育の在り方を考える
- 川崎市「特定非営利活動法人 楽」理事長 柴田 範子 氏
地域で暮らすとはどういうことか、これからの介護職の役割、あり方を提案する

【コーディネーター】

- 熊本学園大学 社会福祉学部教授 横山孝子 氏

公開講座 参加希望

申し込みはファックスにてお願いいたします。

FAX 03-5996-3145 日本介護福祉学会公開講座担当 荏原

平成 28 年 5 月 28 日(土)の公開
講座の参加を申し込みます。

氏名

所属

会員、非会員、学生 (いずれか○を付けてください)

連絡先